

## 化石燃料はあとどれだけあるのか

講演： 松島 潤 さん（東京大学教授）



日時：2023年3月28日（火） 19:30 ~ 21:00

場所：オンライン開催（Zoom）

参加費：無料

現在の生活は石油、石炭、天然ガスの化石燃料によって成り立っている。石油はあと何年あるかは常に議論されてきたが、新規油田の発見とシェールオイルの掘削技術の開発によって、数十年はあるという状態が持続している。しかし、新しく発見される化石燃料は投入するエネルギーに対する回収エネルギーの比（エネルギー収支比）が低く、採掘コストが高くなっている。化石燃料の量と質と価格は文明の姿を左右する。

### 講演概要：

「石油はあと何年で枯渇するのでしょうか？」との質問をすると、千差万別の答えが返ってきます。本当のエネルギー問題とは何でしょうか？地球資源の探査に関する研究をしていきますと、明らかに対象が大深度化、複雑化、小規模化したものに移行していくことがわかります。これは我々の経済原理が探査・開発しやすいエネルギー資源から探査・開発を行っているためです。技術革新によりこれまで探査・開発できなかったものが可能になりますが、投入するエネルギーに対する回収エネルギーの比（エネルギー収支比）が低下しています。このようなエネルギー収支比の低下はQoL（Quality of Life）の低下を招くばかりでなく環境へのインパクトも大きくなります。現在、エネルギー危機が世界を覆い始め、人々の生活に襲いかかっており、国としての存続が危ぶまれている状況も見受けられます。エネルギー資源論の視点から、これから我々が直面するエネルギー問題を読み解くことを試みます。

**松島潤さんの略歴：** 東京大学工学部精密機械工学科卒業、通商産業省工業技術院地質調査所（現：産業技術総合研究所）を経て東京大学大学院新領域創成科学研究科教授。化石燃料の弾性波探査、エネルギー収支比とQoL（Quality of Life）の関係などの研究に従事。

### ZOOMのURL

<https://us02web.zoom.us/j/84740306595?pwd=b1A5dnE2YnNoS3g5Z3Y1cUE4aHI4UT09>

パスコード：839160

ミーティングID：847 4030 6595

参加登録：会員は不要。非会員の方は松久（[h.matsuhisa@shukusho.org](mailto:h.matsuhisa@shukusho.org)）まで連絡願います。